

**I. 報告事項**

- 報告 1 平成 30 年度事業報告の件
  - 資料 1 平成 30 年度事業報告書
- 報告 2 2019 年度事業計画の件
  - 資料 2 2019 年度事業計画書
- 報告 3 2019 年度収支予算書の件
  - 資料 3 2019 年度収支予算書

**II. 決議事項**

- 第 1 号議案 平成 30 年度決算の件
  - 資料 4 貸借対照表
  - 資料 5 正味財産増減計算書
  - 資料 6 財産目録（注記，附属明細書を含む）
  - 資料 7 監査報告書
- 第 2 号議案 欠員に伴う役員選任の件
  - 資料 8 2019 年度理事及び監事候補

2019 年 5 月 31 日

一般社団法人 日本フルードパワーシステム学会

〒 105-0011 東京都港区芝公園 3 丁目 5-22  
機械振興会館 別館 102

電話 03-3433-8441  
FAX 03-3433-8442  
E-mail [info@jfps.jp](mailto:info@jfps.jp)

# 1. 平成30年度事業報告の件

## 資料1 平成30年度事業報告

自 平成30年 4月 1日

至 平成31年 3月31日

### 1-1 事業

#### (1) 集会事業 (企画委員会)

事業名	行事名	期日	場所
総会	第37期通常総会	H30. 5. 25	東京 (機械振興会館)
講演会	平成30年春季フルードパワーシステム 講演会 参加者 112名 論文数 37件	H30. 5. 24 ～25	東京 (機械振興会館)
	平成30年秋季フルードパワーシステム 講演会 参加者 107名 論文数 50件,	H30. 10. 25 ～26	京都 (京都教育文化センター)
講習会	フルードパワー道場13 「フルードパワーシステムとIoT・スマートファク トリー」 参加 14社・23名	4回開催	東京近郊・他
	フルードパワーシステム特別研修会 登録参加者 8社・8名	計4回開催	東京近郊・他
セミナー	春季講演会併設セミナー 「フルードパワーにおける設計技術のトレンド ー品質向上と最適化を目指してー」 参加者34名	H30. 5. 24	東京 (機械振興会館)
	平成30年度オータムセミナー 「知っておきたい空気圧システム設計技術の 新常識」 参加者18名	H30. 11. 16	東京 (機械振興会館)
	平成30年度ウインターセミナー 「フルードパワーシステムと1DCAE」 参加者28名	H31. 2. 22	東京 (機械振興会館)
教育講座	入門者向き実習講座「油空圧技術」 参加者7名	H30. 6. 6～6. 8	大阪 (ポリテクセンター関西)
	平成30年度 特別教育講座 「油圧機器・システムのモデリング入門 ー市販ソフトを利用するときを知っておく ことはこれだ!ー」 参加者22名	H30. 9. 12	東京 (機械振興会館)

#### (2) 研究委員会 (企画委員会・基盤強化委員会)

1. OHC-Sim特別研究委員会 (第21期)  
(委員長 田中 和博, 期間延長; 平成30年4月～平成31年3月) 3～4回/年開催
2. 油圧機器のトライボロジーなど基盤技術に関する特別研究委員会  
(委員長 西海 孝夫, 新設; 平成30年4月～2020年3月) 3～4回/年開催
3. 1DCAEによるフルードパワーシステム設計に関する委員会  
(委員長 田中 和博, 期間延長; 平成30年4月～平成31年3月) 3～4回/年開催
4. アクアドライブシステムの新たな構成機器の開発とその制御に関する研究委員会  
(委員長 鈴木 健児, 期間延長; 平成30年4月～平成31年3月) 3～4回/年開催
5. 機能性流体フルードパワーシステムに関する研究委員会  
(委員長 中野 政身, 新設; 平成30年4月～2020年3月) 3～4回/年開催

(3) 会誌（編集委員会）

	Vol.	No.	発行年月日
会誌「フルードパワーシステム」	49	3	H30. 5. 15
		4	7. 15
		E1	8. 15（電子出版）
	50	5	9. 15
		6	11. 15
		1	H31. 1. 15
		2	3. 15
発行数	電子出版を含め7回発行， 毎号1,850部		

(4) 研究論文（論文集委員会）

	和文/英文誌の別	投稿論文 受付件数	論文集 掲載済	掲載待ち	校閲中	返却
H29年度	和文誌	8	7	1	0	0
	英文誌	18	1	17	0	0
H30年度	和文誌	8	0	3	4	1
	英文誌	3	2	0	0	1

(5) 表彰（表彰委員会）

① 平成29年度（一社）日本フルードパワーシステム学会賞授賞者

学術論文賞：

「炭酸水素ナトリウムとクエン酸の化学反応を用いた小型増圧ポンプを有する携帯型空気圧源の提案」

奥井 学，名倉 裕貴，飯川 伸吾，山田 康之，中村 太郎（中央大学）

技術開発賞：

「超小型EV向けMR流体ブレーキの開発と実装」

中野 政身，田口 修（東北大学）

尾高 成也，古川 仁，道辻 善治（株式会社曙ブレーキ中央技術研究所）

技術功労賞：

成田 晋（日本フルードパワーシステム学会事務局）

学術貢献賞

則次 俊郎（津山工業高等専門学校）

最優秀講演賞：

社会人部門；細川 賢治（東京計器株式会社）

学生部門；玉木 博章（岡山理科大学），古田 優悟（芝浦工業大学）

② 平成29年度SMC高田賞：

「ピンチ型空気圧サーボバルブの開発」

石田 靖昌（東京工業大学）

③ 平成29年度油空圧機器技術振興財団顕彰：

「Numerical Simulation of Particle Trajectories in the Charge-injection Type of Electrostatic Oil Filter」

柳田 秀記，横山 智洋，西川原 理仁（豊橋技術科学大学）

松浦 慎仁（ヤンマー建機株式会社）

④ 名誉員：鈴木 勝正（東京都市大学）

⑤ フェロー：伊藤 和巳（KYB株式会社）

佐藤 毅彦（東京計器株式会社）

## 1-2 会議及び委員会活動

会議名	回数	備考
第37期通常総会	1回	H30. 5. 25開催
理事会	6回	
委員長会議	5回	
評議員会	1回	H31. 3. 20開催
各委員会		
庶務委員会		書面審議
会計委員会		書面審議
編集委員会	6回	
企画委員会	6回	
基盤強化委員会	4回	
論文集委員会		書面審議
出版委員会		書面審議
表彰委員会		書面審議
情報システム委員会	4回	
国際交流委員会		書面審議
国際シンポジウム実行委員会	3回	H30. 4～H31. 3
学会創立50周年記念事業実行委員会	3回	H30. 7～H31. 1

### (1) 会議

- 理事会 各担当理事からの提案事項、各委員会活動計画・報告内容、基盤強化に関する事項などを審議した。
- 委員長会議 理事会開催の前月に開催し、各委員会活動の調整および理事会に諮る議題を検討した。
- 評議員会 平成30年度の評議員会を開催し、学会活動における諸問題について討議した。

### (2) 委員会

- 庶務委員会 事務局職員の給与、賞与、退職金の策定、プライバシーポリシーの制定、その他適宜施策を策定し実施した。
- 会計委員会 財務の管理・運営、決算書・予算書などの作成、会計監査などを適宜実施した。また、会計管理規定の改訂に着手した。
- 編集委員会 会誌の特集企画立案および編集作業を実施した。また、原稿確認マニュアルの作成などを実施した。
- 企画委員会 講演会、講習会、セミナーなどの集会事業を企画し、実施するとともに、講演論文集やセミナーテキストの電子データによる配布を開始し、会員満足度向上を図った。また、研究委員会や特別研究委員会などの研究調査事業を基盤強化委員会と連携して企画し、実施した。
- 基盤強化委員会 学会の会員増強、財務強化のための施策を企画立案し、実施するとともに、FP道場やFP特別研修会などの研修事業を企画し、実施した。また、基盤研究委員会規程および内規を新たに制定した。
- 論文集委員会 論文集への投稿論文等の校閲の運営・管理を実施した。Web上で論文投稿・校閲できるシステムによる投稿の受付・査読業務を実施し、J-STAGE上で3号の論文集を発行した。また、論文投稿規程の改訂に着手した。
- 出版委員会 会誌や論文集など他の委員会が所掌する出版物以外の出版に関する事業の企画立案及び編集を実施した。
- 表彰委員会 学会賞などの各賞の募集・選考・表彰、名誉員の推挙、他団体の顕彰への推薦などを実施した。
- 情報システム委員会 情報の充実化のための一環として、学会誌・講演論文集などの電子化、学会ITに関連する事項の整備およびHPの充実と保守管理・運営などを実施した。
- 国際交流委員会 日中若手研究者交流事業の一環として、9月に中国(北京)へ研究者1名を派遣した。

国際シンポジウム実行委員会

第11回 JFPS フルードパワー国際シンポジウム函館の開催準備として、実行委員会開催、業務委託業者選定、各種アナウンス、会場下見等を適宜実施した。

学会創立50周年記念事業実行委員会

記念式典企画、記念出版編集、財務の3分科会を設け、創立50周年記念事業の計画・立案、特別会費納入の趣意書送付などを実施した。

(3) 寄付金

①一般寄付金振込額 ¥ 5,000,000 (SMC株式会社, 平成30年5月10日)

②創立50周年記念事業特別会費

正会員：¥ 1,560,000 (88名)

賛助会員：¥ 5,150,000 (36社)

(4) 会員の移動状況

会員の種別	平成30年4月1日	2019年4月1日	差引増減	備考
正会員(注)	924名	920名	-4名	
学生会員	109名	111名	+7名	
賛助会員	130社 (278口)	130社 (283口)	±0社 (+5口)	

(注) 正会員の内訳：2019年4月1日

名誉員 14名, シニア員 46名, ジュニア員 128名, その他 732名

## 2. 2019年度事業計画の件

### 2019年度事業計画書

自 2019年 4月 1日

至 2020年 3月31日

#### 2-1 事業計画

##### (1) 集会事業

事業名	行事名	期日	場所
総会	第38期通常総会	2019. 5. 31	東京 (機械振興会館)
講演会	2019年春季 フルードパワーシステム講演会	2019. 5. 30 ～31	東京 (機械振興会館)
	2019年秋季 フルードパワーシステム講演会	2019. 11. 21 ～22	富山 (富山国際会議場)
研修会	フルードパワー道場14 「・・・・・・・・・・・・・・・・」	4回開催	東京近郊・他
	フルードパワーシステム特別研修会	4～5回開催	東京近郊・他
セミナー	春季講演会併設セミナー 「ロボットに役立つフルードパワーの要素技術」	2019. 5. 30	東京 (機械振興会館)
	2019年度オータムセミナー	2019. 11	東京近郊
	2019年度ウインターセミナー	2020. 2	東京近郊
教育講座	入門者向き実習講座「油空圧技術」	2019. 6. 5 ～6. 7	大阪 (ポリテクセンター関西)
	平成30年度特別教育講座 「・・・・・・・・・・・・・・・・」	2019. 8	東京 (機械振興会館)

##### (2) 研究委員会 (企画委員会, 基盤強化委員会)

###### 1) OHC-Sim 特別研究委員会 (第22期)

(委員長 田中 和博, 期間延長; 2019年4月～2020年3月) 3～4回/年開催

###### 2) 油圧機器のトライボロジーなど基盤技術に関する特別研究委員会

(委員長 西海 孝夫; 2018年4月～2020年3月) 3～4回/年開催

###### 3) 機能性流体フルードパワーシステムに関する研究委員会

(委員長 中野 政身; 2018年4月～2020年3月) 3～4回/年開催

##### (3) 学会誌・論文集

学会誌「フルードパワーシステム」を、電子出版号を含めて年7号刊行する。

「日本フルードパワーシステム学会論文集」を、適宜J-STAGEに掲載する。

##### (4) 出版物

講演会の論文集, セミナーのテキスト, 研究委員会の研究成果報告書などを出版する。

##### (5) 表彰

学会賞 (学術論文賞, 学術貢献賞, 技術開発賞, 技術功労賞, 最優秀講演賞), SMC 高田賞, 名誉員の推挙, 他団体の顕彰への推薦などの募集, 選考, 表彰を実施する。

##### (6) 他学協会との共催, 協賛

「フルードパワーシステム講演会」, オータムセミナー・ウインターセミナー, その他企画事

業について関連団体へ共催・協賛を積極的に要請する。同じく、関連団体よりの共催・協賛要請に適宜対応する。

- (7) 学会 IT 環境整備事業  
会員へのサービス向上のため IT 環境の整備，特に HP を逐次更新し，最新情報を担保するとともに，会員管理システムのセキュリティを確保する。また，HP のリニューアルを計画する。
- (8) 国際交流事業  
中国との交流のための若手研究者を招聘し，秋季講演会で講演を依頼する。  
海外からの国際交流奨学生を募集する。
- (9) 産・学共同研究事業  
日本フルードパワー工業会と共同し，関連情報の収集，テーマの設定，研究開発の概要などを検討する。
- (10) 学会創立 50 周年記念事業  
学会創立 50 周年記念事業実行委員会にて，記念事業の準備を進める。

## 2-2 会議及び各委員会の活動計画

- (1) 通常総会 第 38 期通常総会 (5 月 31 日開催予定)
- (2) 理事会 年 6 回開催 (委員長会議 (年 5 回) で理事会の議題調整・準備)
- (3) 各委員会  
庶務委員会：組織，定款・細則・諸規程整備，渉外・人事などに関する策定と実施 (適宜開催)  
会計委員会：財務の管理・運営，決算書・予算書等の作成，年度末の会計監査の実施，会計管理規程の改訂 (適宜開催)  
編集委員会：会誌の特集企画立案および編集，表紙デザインの刷新 (年 6 回，その他分科会)  
企画委員会：講演会，講習会，セミナーなどの集会事業の企画策定と実施，研究委員会や特別研究委員会などの研究調査事業の基盤強化委員会との連携による企画，運営 (年 5 回，その他分科会適宜開催)  
基盤強化委員会：  
学会会員増強，財務基盤強化のための施策の企画立案と実施。若手道場や FPS 特別研究会などの若手技術者の研修事業の企画と実施 (年 4 回)  
論文集委員会：論文集への投稿論文などの校閲の運営・管理，論文投稿規程の改訂 (適宜開催)  
出版委員会：会誌や論文集など他の委員会が所掌する出版物以外の出版に関する事業の企画立案及び編集 (適宜開催)  
表彰委員会：学会賞等の各賞の募集・選考・表彰，名誉員の推挙，他団体の顕彰への推薦 (適宜開催)  
情報システム委員会：  
情報の充実化策定と実施，学会誌・講演論文集等の電子化，学会 IT 関連整備，HP の充実化と管理・運営 (年 4 回開催)  
国際交流委員会：  
日中若手研究者交流事業を通じ，中国から若手研究者を招聘する。また，中国で開催される日中共同ワークショップに論文を発表するとともに参加する。海外学会への使節団の派遣，海外からの国際交流奨学生の募集など国際交流促進の検討 (適宜開催)。  
国際シンポジウム実行委員会：  
第 11 回 JFPS フルードパワー国際シンポジウム函館の開催準備を進める。(適宜開催)  
創立 50 周年記念事業実行委員会：  
記念式典・企画分科会，記念出版・編集分科会，財務分科会の 3 分科会を設置し，記念式典，記念パーティーの開催準備，50 周年記念誌出版，学会誌特集号発行，機能性流体テキストの出版，学会誌のアーカイブ，HP リニューアルの準備を進めるとともに，特別会費の受付を引き続き実施する。(適宜開催)

## 資料3 2019年度収支予算書

2019年 4月 1日～2019年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	2019年度
I 一般正味財産増減の部	
1. 経常増減の部	
(1) 経常収益	
特定資産運用益	0
特定資産受取利息	0
受取会費	23,590,000
正会員会費収入	6,452,000
賛助会員会費収入	16,860,000
学生会員会費収入	278,000
受取参加料	7,570,000
春季・秋季講演会収入	3,700,000
オータム・ウィンターセミナー収入	600,000
FP道場収入	700,000
OHC-Sim事業収入	350,000
研究委員会収入	270,000
特別研修会収入	1,600,000
国際シンポジウム収入	0
国際交流事業収入	0
受取販売料	650,000
学会誌頒布収入	250,000
諸資料頒布及び著作権料収入	400,000
受取掲載料	240,000
論文掲載料収入	240,000
受取広告料	1,300,000
広告料収入	1,300,000
受取出展料	0
IFPEX展示収入	0
受取補助金等	250,000
国際シンポジウム	0
秋季講演会	250,000
受取寄付金	6,050,000
50周年記念事業	1,050,000
国際シンポジウム	
その他	5,000,000
雑収益	20,000
普通預金利息	0
雑収益	20,000
<b>経常収益計</b>	<b>39,670,000</b>
(2) 経常費用	
会誌事業費	6,700,000
会議費	400,000
諸謝金費	500,000
印刷製本費	4,100,000
通信運搬費	350,000
編集業務委託費	1,350,000



科 目	2019 年度
企画事業費	3,700,000
会議費	600,000
春季・秋季講演会開催費	2,400,000
セミナー（オータム・ウィンター）開催費	400,000
FP 道場開催費	300,000
研究委員会事業費	450,000
機能性流体研究委員会費	350,000
1DCAE 研究委員会費	100,000
OHC-Sim 事業費	500,000
OHC-sim 特別教育講座開催費	300,000
OHC-sim 特別研究委員会費	20,000
特別研修会事業費	400,000
FPS 特別研修会開催費	400,000
表彰事業費	350,000
表彰費	350,000
情報関連事業費	2,500,000
保守費	150,000
IT 環境整備費	2,100,000
サーバー保守費	200,000
会議費, 運営費	50,000
国際交流事業費	1,200,000
国際交流事業費	1,200,000
論文集事業費	600,000
会議費	0
論文集公開経費（J-STAGE）	600,000
創立 50 周年事業費	3,450,000
会議費	450,000
記念式典・企画事業	0
記念出版・編集事業	1,500,000
広報事業	500,000
学会事務局設備更新	1,000,000
国際シンポジウム開催費	400,000
国際シンポジウム開催費	0
準備費	400,000
管理費	21,620,000
給料手当	9,500,000
福利厚生費	1,450,000
会議費	120,000
旅費交通費	300,000
通信運搬費	1,000,000
什器備品費	1,500,000
消耗品費	500,000
賃貸料	3,540,000
諸謝金	700,000
支払手数料	40,000
他団体参加費	250,000
基盤強化委員会費	200,000
租税公課	0
退職給付費用	1,000,000
減価償却費	920,000
雑費	600,000
経常費用計	41,870,000
当期経常増減額	△ 2,200,000

## II. 決議事項

### 第1号議案 平成30年度決算の件

#### 資料4 貸借対照表

平成31年 3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度 (H30)	前年度 (H29)	増 減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	35,716,127	24,848,742	10,867,385
立替金	0	5,116	△ 5,116
流動資産合計	35,716,127	24,853,858	10,862,269
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
退職給付引当預金	0	2,500,000	△ 2,500,000
情報システム運営基金	5,000,000	5,000,000	0
国際交流事業運営基金預金	7,586,511	7,586,511	0
国際シンポジウム運営基金預金	11,253,505	11,253,505	0
産学共同研究基金預金	6,866,252	6,866,252	0
出版事業基金預金	2,574,574	2,574,574	0
フルードパワーシステム技術基金	5,000,000	5,000,000	0
特定資産合計	38,280,842	40,780,842	△ 2,500,000
(2) その他固定資産			
ソフトウェア	1,437,615	2,187,675	△ 750,060
リース資産	4,763,880	165,888	4,597,992
電話加入権	38,441	38,441	0
敷金	3,163,800	3,163,800	0
その他固定資産合計	9,403,736	5,555,804	3,847,932
固定資産合計	47,684,578	46,336,646	1,347,932
資産合計	83,400,705	71,190,504	12,210,201
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金	40,095	46,440	△ 6,345
前受金	5,010,000	0	5,010,000
前受会費	16,084,000	16,296,000	△ 212,000
預り金	140,713	257,703	△ 116,990
仮受金	300,000	325,400	△ 25,400
未払法人税等	121,000	70,000	51,000
流動負債合計	21,695,808	16,995,543	4,700,265
2. 固定負債			
リース債務	4,763,880	165,888	4,597,992
退職給付引当金	1,122,855	3,515,874	△ 2,393,019
固定負債合計	5,886,735	3,681,762	2,204,973
負債合計	27,582,543	20,677,305	6,905,238
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 一般正味財産			
(うち特定資産への充当額)	55,818,162 (38,280,842)	50,513,199 (38,280,842)	5,304,963 (0)
正味財産合計	55,818,162	50,513,199	5,304,963
負債及び正味財産合計	83,400,705	71,190,504	12,210,201

## 資料5 正味財産増減計算書

平成30年 4月 1日～平成31年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度 (H30)	前年度 (H29)	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	2,912	2,726	186
特定資産受取利息	2,912	2,726	186
受取会費	23,920,662	24,484,709	△ 564,047
正会員会費収入	6,848,662	7,608,709	△ 760,047
賛助会員会費収入	16,800,000	16,620,000	180,000
学生会員会費収入	272,000	256,000	16,000
受取参加料	7,007,000	14,366,519	△ 7,359,519
春季・秋季講演会収入	3,655,000	1,886,000	1,769,000
オータム・ウィンターセミナー収入	560,000	613,000	△ 53,000
FP道場収入	702,000	988,000	△ 286,000
OHC-Sim事業収入	420,000	270,000	150,000
FPS特別研修会収入	1,400,000	0	1,400,000
研究委員会収入	270,000	1,600,000	△ 1,330,000
国際シンポジウム収入	0	8,409,519	△ 8,409,519
産学共同研究委員会収入	0	600,000	△ 600,000
受取販売料	573,838	672,071	△ 98,233
学会誌頒布収入	371,878	371,224	654
諸資料頒布及び著作権料収入	201,960	300,847	△ 98,887
受取掲載料	145,000	210,000	△ 65,000
論文掲載料収入	145,000	210,000	△ 65,000
受取広告料	1,755,432	1,010,448	744,984
広告料収入	1,755,432	1,010,448	744,984
受取出展料	0	108,000	△ 108,000
IFPEX展示収入	0	108,000	△ 108,000
受取補助金等	0	2,200,000	△ 2,200,000
国際シンポジウム	0	2,000,000	△ 2,000,000
平成28年秋季講演会	0	200,000	△ 200,000
受取寄付金	11,710,000	10,300,000	1,410,000
国際シンポジウム	0	5,300,000	△ 5,300,000
50周年記念事業	6,710,000	0	6,710,000
その他	5,000,000	5,000,000	0
雑収益	1,310	48,296	△ 46,986
普通預金利息	1,310	1,436	△ 126
雑収益	0	46,860	△ 46,860
経常収益計	45,116,154	53,402,769	△ 8,286,615
(2) 経常費用			
会誌事業費	5,890,822	6,712,172	△ 821,350
会議費	432,658	438,823	△ 6,165
諸謝金費	405,000	466,500	△ 61,500
印刷製本費	3,210,379	3,788,144	△ 577,765
通信運搬費	572,491	671,212	△ 98,721
編集業務委託費	1,270,294	1,347,493	△ 77,199
企画事業費	3,799,689	2,782,265	1,017,424
会議費	761,434	651,051	110,383
春季・秋季講演会開催費	2,387,480	1,083,381	1,304,099
セミナー(オータム・ウィンター)	329,221	444,264	△ 115,043
FP道場開催費	321,554	259,255	62,299
OHC-S特別教育講座	0	344,314	△ 344,314
研究委員会事業費	440,260	474,868	△ 34,608
機能性流体研究委員会	343,000	370,000	△ 27,000
1DCAE研究委員会	97,260	104,868	△ 7,608
OHC-Sim事業費	442,507	66,402	376,105
OHC-Sim特別教育講座	250,427	0	250,427

科 目	当年度 (H30)	前年度 (H29)	増 減
OHC-sim 特別研究委員会	192,080	66,402	125,678
特別研修会事業費	292,351	448,222	△ 155,871
FPS 特別研修会事業費	292,351	448,222	△ 155,871
表彰事業費	229,448	319,553	△ 90,105
表彰費	229,448	319,553	△ 90,105
情報関連事業費	1,194,075	1,641,112	△ 447,037
保守費	227,038	206,234	20,804
IT 環境整備費	663,336	1,228,608	△ 565,272
サーバー保守費	150,557	170,753	△ 20,196
会議費、運営費	153,144	35,517	117,627
国際交流事業費	613,674	606,964	6,710
国際交流事業費	613,674	606,964	6,710
論文集事業費	605,340	626,508	△ 21,168
論文集公開経費 (J-STAGE)	605,340	626,508	△ 21,168
IFPEX 開催費	0	130,140	△ 130,140
IFPEX 開催費	0	130,140	△ 130,140
国際シンポジウム開催費	323,540	7,756,717	△ 7,433,177
国際シンポジウム開催費	0	7,731,137	△ 7,731,137
準備費	323,540	25,580	297,960
50 周年記念事業費	106,374	0	106,374
会議費	12,128	0	12,128
通信運搬費	94,246	0	94,246
管理費	25,479,270	23,991,847	1,487,423
給料手当	10,889,946	10,842,232	47,714
福利厚生費	2,541,979	1,936,276	605,703
会議費	1,357,262	1,328,933	28,329
旅費交通費	255,010	97,890	157,120
通信運搬費	504,622	612,207	△ 107,585
什器備品費	1,029,996	1,913,296	△ 883,300
消耗品費	259,889	400,884	△ 140,995
賃貸料	3,531,804	3,531,804	0
諸謝金	994,650	675,028	319,622
支払手数料	38,016	32,400	5,616
他団体参加費	249,574	205,040	44,534
基盤強化委員会費	178,681	212,121	△ 33,440
租税公課	1,050	0	1,050
退職給付費用	1,762,981	619,894	1,143,087
減価償却費	1,349,028	915,948	433,080
雑費	534,782	667,894	△ 133,112
経常費用計	39,417,350	45,556,770	△ 6,139,420
評価損益等調整前当期経常増減額	5,698,804	7,845,999	△ 2,147,195
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	5,698,804	7,845,999	△ 2,147,195
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
雑損失	4,320	0	4,320
経常外費用計	4,320	0	4,320
当期経常外増減額	△ 4,320	0	△ 4,320
税引前一般正味財産増減額	5,694,484	7,845,999	△ 2,151,515
法人税、住民税及び事業税	389,521	70,611	318,910
当期一般正味財産増減額	5,304,963	7,775,388	△ 2,470,425
一般正味財産期首残高	50,513,199	42,737,811	7,775,388
一般正味財産期末残高	55,818,162	50,513,199	5,304,963
Ⅱ 正味財産期末残高	55,818,162	50,513,199	5,304,963

## 資料6 財産目録

平成31年 3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	現金 預金	手元保管	運転資金として	133,035
		普通預金		35,583,092
		新生銀行本店	運転資金として	243,528
		横浜銀行新橋支店	運転資金として	15,126
		芝信用金庫新橋支店	運転資金として	24,057
		三菱東京UFJ銀行本店	運転資金として	61,660
		りそな銀行新橋支店	運転資金として	6,794,019
		りそな銀行赤坂支店	運転資金として	410,535
		みずほ銀行新橋支店	運転資金として	10,531,800
		三井住友銀行日比谷支店	運転資金として	15,368,412
		郵便貯金	運転資金として	1,312,955
		郵便振替	運転資金として	821,000
流動資産合計			35,716,127	
(固定資産)	特定資産	情報システム運営	情報システム運営のため	5,000,000
		基金	の基金	5,000,000
		国際交流事業運営	国際交流事業運営のため	7,586,511
		基金預金	の基金	4,554,865
		横浜銀行新橋支店		3,031,646
		国際シンポジウム	シンポジウム事業運営の	11,253,505
		運営基金預金	ための基金	2,654,405
		りそな銀行赤坂支店		8,599,100
		芝信用金庫新橋支店		6,866,252
		産学共同研究基金	調査研究事業運営のため	5,029,683
		預金	の基金	1,836,569
		横浜銀行新橋支店		2,574,574
		出版事業基金預金	会誌事業運営のための基金	1,553,973
		三井住友銀行日比谷支店		1,020,601
		みずほ銀行新橋支店		5,000,000
		フルードパワー	フルードパワーシステム	5,000,000
		システム技術基金	技術のための基金	
その他 固定資産	ソフトウェア	東京都港区芝公園3丁目	会員管理システム	1,437,615
		5番22号		1,437,615
	リース資産	同上	事務所使用のパソコン	445,500
		同上	事務所使用の複合機	3,498,660
		同上	事務所使用のサーバー	819,720
	電話加入権	同上	事務所使用の電話	38,441
敷金	同上	事務所の敷金	3,163,800	
固定資産合計			47,684,578	
資産合計			83,400,705	

(流動負債)	未払金			40,095
	前受金	堀井公認会計士事務所	2019年4月分税理士顧問料	40,095
		春季講演会その他会員 参加費寄附金	2019年春季講演会参加費 (株)SMCより受領した2019年 度分の寄附金	5,010,000 10,000 5,000,000
	前受会費			16,084,000
		2019年度正会員	2019年度の正会員会費	436,000
		学生会員	学生会員の受取会費前受分	10,000
		賛助会員	賛助会員の受取会費前受分	15,600,000
	預り金	2020年度正会員	2020年度の正会員会費	30,000
		2021年度正会員	2021年度の正会員会費	8,000
				140,713
			平成31年1月～3月分源泉 所得税	23,740
		報酬	平成31年3月分源泉所得税	3,133
		士業報酬	平成31年1月～3月分源泉 所得税	20,061
仮受金 未払法人税等	社会保険料	平成31年3月分社会保険料	80,379	
	住民税	平成31年3月分の住民税	13,400	
		平成31年度財団賞, 参加料	300,000	
		平成30年度の法人税, 住民 税及び事業税	121,000	
流動負債合計			21,695,808	
(固定負債)	リース債務	東京都港区芝公園3丁目 5番22号	事務所使用のパソコン	4,763,880 445,500
		同上	事務所使用の複合機	3,498,660
	退職給付引当金	同上	事務所使用のサーバー 職員に対する退職金の支払 いに備えたもの	819,720 1,122,855
固定負債合計			5,886,735	
負債合計			27,582,543	
正味財産			55,818,162	

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

#### (1) 引当金の計上基準

職員の退職金支給に備えるため、退職金規程に基づく期末要支給額を計上している。

#### (2) 固定資産の減価償却の方法

##### ① リース資産

所有権移転外ファイナンス・リースに係るリース資産

リース期間定額法によっている。

##### ② ソフトウェア

定額法によっている。

#### (3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込み方式によっている。

### 2. 特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
退職給付引当預金	2,500,000	0	2,500,000	0
情報システム運営基金	5,000,000	0	0	5,000,000
国際交流事業運営基金預金	7,586,511	0	0	7,586,511
国際シンポジウム運営基金預金	11,253,505	0	0	11,253,505
産学共同研究基金預金	6,866,252	0	0	6,866,252
出版事業基金預金	2,574,574	0	0	2,574,574
フルードパワーシステム技術基金	5,000,000	0	0	5,000,000
小 計	40,780,842	0	2,500,000	38,280,842
合 計	40,780,842	0	2,500,000	38,280,842

### 3. 特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正 味財産からの 充当額)	(うち一般正 味財産からの 充当額)	(うち負債に 対応する額)
特定資産				
情報システム運営基金	5,000,000	(0)	(5,000,000)	(0)
国際交流事業運営基金預金	7,586,511	(0)	(7,586,511)	(0)
国際シンポジウム運営基金預金	11,253,505	(0)	(11,253,505)	(0)
産学共同研究基金預金	6,866,252	(0)	(6,866,252)	(0)
出版事業基金預金	2,574,574	(0)	(2,574,574)	(0)
フルードパワーシステム技術基金	5,000,000	(0)	(5,000,000)	(0)
小 計	38,280,842	(0)	(38,280,842)	(0)
合 計	38,280,842	(0)	(38,280,842)	(0)

### 4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
リース資産	6,026,400	1,262,520	4,763,880
ソフトウェア	3,750,300	2,312,685	1,437,615
合 計	9,776,700	3,575,205	6,201,495

## 附属明細書

### 1. 基本財産及び特定資産の明細

特定資産の明細は、財務諸表に対する注記に記載しているため附属明細書での記載を省略している。

### 2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	3,515,874	1,762,981	4,156,000		1,122,855



## 資料7 監査報告

### 監査報告

平成31年4月23日

一般社団法人 日本フルードパワーシステム学会  
会長 眞田 一志 殿

一般社団法人 日本フルードパワーシステム学会

監事 佐藤 毅彦

監事 高岩 昌弘

監事 井口 謙彦



私たち監事は、平成30年4月1日から平成31年3月31日までの第37期事業年度の理事の職務執行状況を監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

#### 1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、事務局において業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る財務諸表等（貸借対照表、内訳表を含む正味財産増減計算書、財産目録、財務諸表に対する注記）及びその附属明細書について検討しました。

#### 2. 監査の結果

##### (1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく、示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

##### (2) 財務諸表等及びその附属明細書の監査結果

財務諸表等及びその附属明細書は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

第2号議案 欠員に伴う役員選任の件

資料8 2019年度理事及び監事候補

理事	丸田 和弘	(株)小松製作所 開発本部油機開発センタ 所長	新任
監事	兵藤 訓一	東京計器(株) 油圧制御システムカンパニー技術部 部長	新任